

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

***乗鞍コロナ観測所で撮影された Ikeya・Seki 彗星の太陽最接近の写真**

1965年に今世紀最大の彗星と騒がれた Ikeya・Seki 彗星が太陽に接近した際、東京天文台乗鞍コロナ観測所 10 cm コロナグラフでコロナの中に尾を引く彗星が撮影され、論文にもなっている。この写真の原板 Plate が太陽関係の資料室に保管されていた。そこでこれらの乾板をスキャナーで取り込み、デジタルデータとして保管した。乾板は 12 枚あり、彗星が撮影された重要な 2 枚が残念なことに割れていた。乾板のリストが表 1 である。

1965/10/21	Plate No.	乗鞍コロナ観測所
1	1-3	
2	1-5	
3	2-3	割れ、彗星が写っている大切なPlate
4	2-4	2-4の文字がコロナの中に書かれている
5	2-5	
6	3-4	
7	3-5	チューブセンチメートルの焼き込
8	4-2	彗星が写っている
9	4-4	
10	5-2	彗星が写っているが失敗作
11	6-2	彗星が写っているが失敗作
12	6-3	割れ、彗星が写っている大切なPlate

表 1

撮影されたのは、1965年10月21日であり、守山史生、平山淳などによって観測された。コロナグラフで撮影された太陽最接近の彗星の様子が写真 1 である。

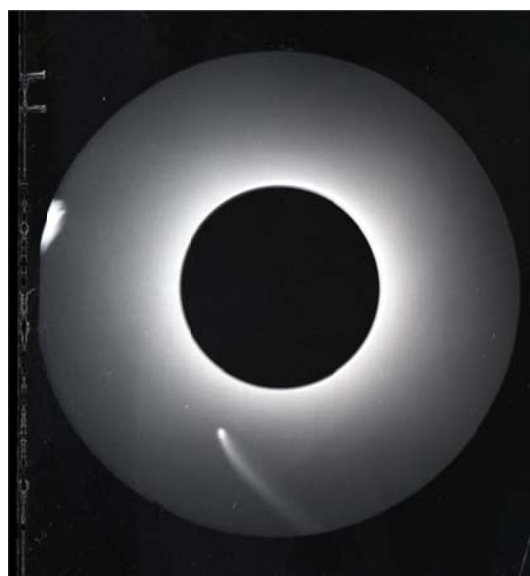


写真 1

筆者はこの頃、まだ岡山天体物理観測所におり、南東の瀬戸内海の上に大きくたなびく彗星を眺めた。当時今世紀最大と言われ、尾の長さは30度もあったと思われる（写真2）。



写真2

今回デジタルデータとして収録するに当たり、陰画、陽画の両方で取り込み、基本的には1200dpiで取り込んだ。太陽近傍に彗星の写った画像はその部分を4800dpiで取り込んだ。そのサムネイルが写真3である。



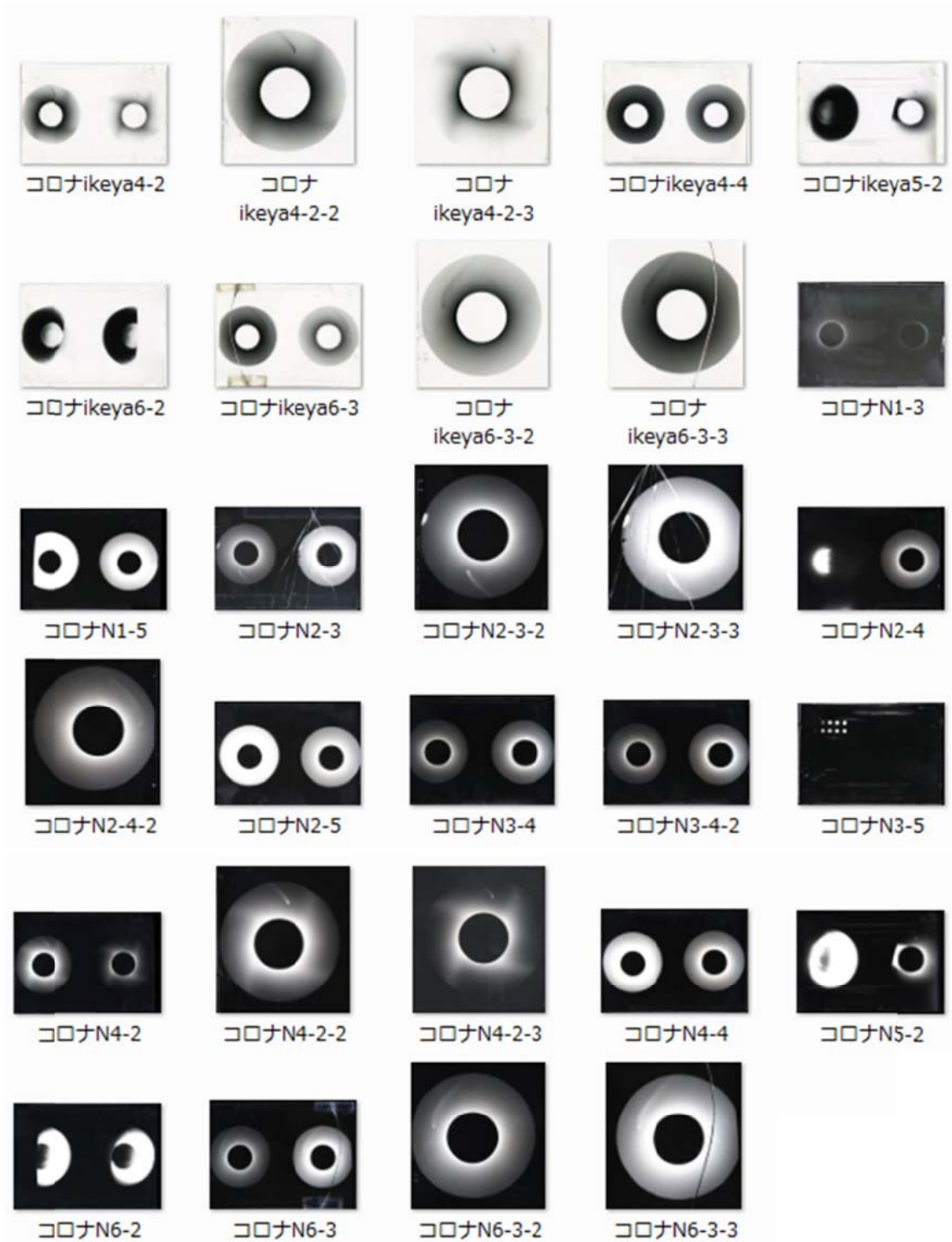


写真3

これらの中の素晴らしい画像、6-3の2枚を載せておく。

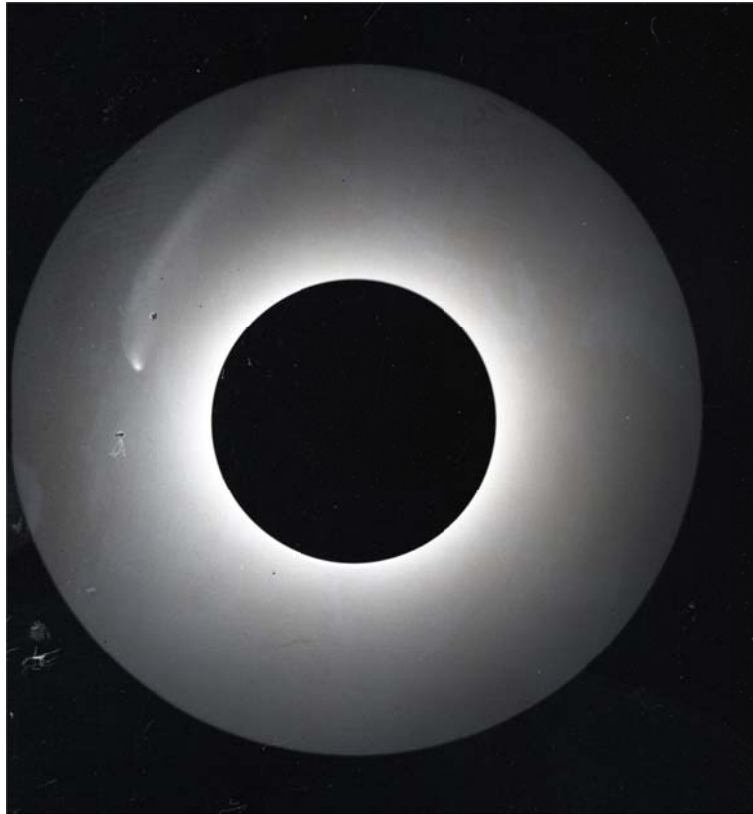


写真 6-3 の左の像

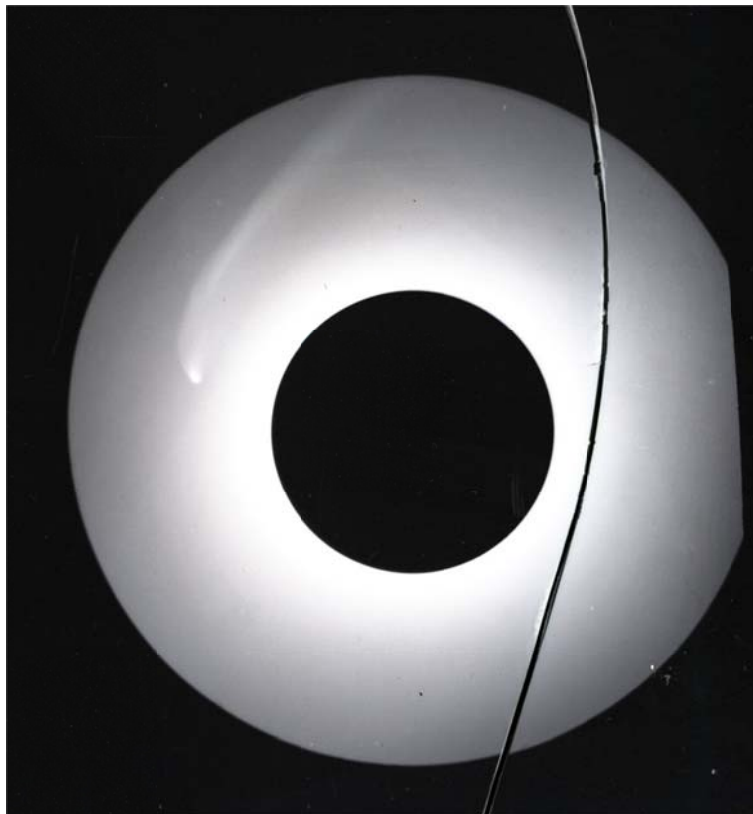


写真 6-3 の右の像

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp